

## 令和3年度 事業報告書

## (1) 職員について

園長	1名	主任保育士	1名	保育士	9名	保育士パート	2名
准看護師	1名	支援員	1名	支援員パート	2名	管理栄養士	2名
調理員	1名	<b>計 20名</b>		嘱託医		歯科嘱託医	

(3月31日現在)

## (2) 職員入退職

(採用) 保育士パート 1名

(退職) 保育士 2名

## (3) 各種会議

- |             |     |                |
|-------------|-----|----------------|
| ① 職員会議・給食会議 | 12回 | ⑥ 嘉麻・桂川地区園長会議  |
| ② 保育事業部会議   | 12回 | ⑦ 嘉麻・桂川地区代表者会議 |
| ③ 管理者会議     | 6回  |                |
| ④ 主任会議      | 12回 |                |
| ⑤ 未満児・以上児会議 | 12回 |                |

## (4) 定員及び園児数 (定員 60名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	4	5	5	5	6	7	7	7	8	10	11	11
1歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
2歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
3歳児	14	15	15	14	15	15	15	15	15	15	15	15
4歳児	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
5歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10
計	64	66	66	66	68	69	69	69	70	71	72	72

## (5) 保育について

## 1) 保育理念

- 主体性が育つ環境(物的、人的)の下、実体験による“生きる力”を育む保育を基本とする
- 担当制による丁寧な保育で自己肯定感が育つ
- 保護者、地域、職員が一体となり共に支え育ちあえる保育園

## 2) 保育目標

- ・自分らしく、意欲的で思いやりのある子ども
- ・他者の喜びを感じられる子ども

- ・丈夫な身体と豊かな創造力を持てる子ども  
(集団保育を通して、やさしい心と丈夫な体、個性ある人格を培う)

### 3) 保育実践内容

【0歳児】 年間目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人に合った生活リズムを大切に生理的欲求を満たし、生命を保持する。</li> <li>・周囲から主体として受け止められ、大切にされる経験から人への信頼感や自己肯定感を育む。</li> <li>・一人一人の子どもが安心感をもって過ごし、自分の気持ちを素直に表現する。</li> </ul>
計 画	食事	担当制保育を通し一人ひとりに合わせて丁寧な関わりを行う。 また、家庭・給食と連携し子どもに無理なく離乳食を進める。
	言葉	ゆっくりと優しく声かけし、子どもが発する喃語・言葉には受容的対応を行う。
	遊び	月齢・発達に合わせた玩具の設置をし、静と動の区別がつくようコーナー作りを行う。
	生活	家庭の生活リズムを大切にしつつ、無理なく個々に合わせて生活リズムを整えていく。
実践・効果		<p>【食事】担当制保育（一対一）を通して一人一人の成長に合わせて食事の援助を行ったことで、子どもたち自ら食に対しての意欲を持たせることができた。こぼしながらも最後まで自分で食事をしている。離乳食が進んでいない子に対して給食室、保護者と協力をして無理なく離乳食を進めていった。</p> <p>【言葉】子どもが発する喃語や言葉に対して受容的対応を重ねたことで楽しそうに言葉を発するようになった。言葉の獲得の手段として手遊び、絵本の読み聞かせ、多くの言葉かけを行った。</p> <p>【遊び】保育室の玩具の設置で静と動の区別がつくよう棚を使ってコーナー作りを行った。また子ども自らが好きな遊びを見つけて遊べるように玩具の設置に配慮した。季節感を持った遊び（戸外遊び、水遊び、散歩）を十分に行ったことで伸び伸びと体を使って遊ぶようになった。</p> <p>【生活】家庭での生活リズムを大切にしつつ無理なく園生活に慣れるよう関わった。安心して過ごせるよう担当保育者が優しく丁寧に関わった。 自立睡眠の確立ができた。子どもの成長（身体、情緒）を帳面や朝、帰りの際に保護者に伝えた事で子どもの今の情報を得ることができ、適切な対応を行うことができた。</p>

【1歳児】 年間目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との温かい関わりと安定した生活のなかで、自分でしようとする気持ちを大切にする。</li> <li>・思いや欲求を身振りや言葉で伝え、保育者や友だちと簡単なやり取りを楽しむ。</li> <li>・家庭での子育てを支えながら、保護者との信頼関係をつくっていく。</li> </ul>
計 画	食事	離乳食から幼児食へ、手づかみからスプーンへ、下持ちから上持ちへ、担当制を活かし、一人ひとり細やかに成長を援助していく。
	排泄	トイレやパンツへ興味が持てるようにし、無理がないよう個々に合わせトイレ・パンツトレーニングを行う。
	遊び	手先から、全身での遊び、散歩など体の様々なところを十分に動かせるようにする。 コーナー遊びにて自分で遊びを選択して遊べるようになる。

実践・効果	<p>【食事】担当制での食事を行い、子ども一人ひとりに合わせた介助をする。二対一の介助から始まり、三対一の体制を徐々に取り入れていった。食べ物の名前を伝えること、夏野菜を育てることで、食に対する興味を持つことができるよう促した。又、“自分で作って食べる”実体験の大切さを感じることができた。介助は四月当初に比べ減少し、食べこぼしも少なくなっている。スプーンの持ち方は、手づかみの子もいたが、上持ちから下持ちへと移行できるよう適宜声掛けを行い、持ち方を教えている。</p> <p>【排泄】すみれ組の半数はトレーニングパンツでのトイレトレーニングを開始しており、トレーニングパンツ着用時に尿意を知らせるよう声掛けをし、子どもが自ら尿意を知らせることができるよう促した。また、適宜尿意はないか声掛けをすることで、見通しを持てるように働きかけた。排泄がトイレで出来た時は子どもを誉めたり、排泄出来た喜びを共有したりすることで、排泄に対する意欲を持てるようにした。保育者へ、トレーニングパンツの準備、トイレトレーニングを家庭でも無理のない範囲で行ってもらうように伝えた。</p> <p>【遊び】子どもがそれぞれ好きな遊びに取り組めるようにし、のびのびと遊べる環境作りを行った。体を動かす喜びを感じることができるようにした。体力の向上を促した。コーナーを分けて遊び、遊び終わったら片付けて次の遊びに向かうよう声掛けを行い、片付けの習慣がつくように関わった。</p>
-------	--

【2歳児】 年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる保育者との関係のもとで、食事や排泄など簡単な身の回りのことを自分でしようとする</li> <li>・保育者を仲立ちにして、生活や遊びの中で言葉のやり取りを楽しむ</li> <li>・保育者や友だちと一緒に全身や指先、手先を使う遊びを十分に楽しむ</li> </ul>						
計 画	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="228 1214 352 1314">食事</td> <td data-bbox="352 1214 1412 1314">食事の基本的な習慣を身につくようにし、好き嫌いせず食べられるよう言葉かけをし、進級に向けて集団での食事ができるように配慮する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1314 352 1393">排泄</td> <td data-bbox="352 1314 1412 1393">個別にトイレトレーニングを行い、無理なく見守りながら行う。布パンツで一日過ごす。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1393 352 1482">遊び</td> <td data-bbox="352 1393 1412 1482">言葉を通して、友達や保育者と関わりながら、コーナー遊びや簡単なルール遊びに繋げていく。</td> </tr> </table>	食事	食事の基本的な習慣を身につくようにし、好き嫌いせず食べられるよう言葉かけをし、進級に向けて集団での食事ができるように配慮する。	排泄	個別にトイレトレーニングを行い、無理なく見守りながら行う。布パンツで一日過ごす。	遊び	言葉を通して、友達や保育者と関わりながら、コーナー遊びや簡単なルール遊びに繋げていく。
食事	食事の基本的な習慣を身につくようにし、好き嫌いせず食べられるよう言葉かけをし、進級に向けて集団での食事ができるように配慮する。						
排泄	個別にトイレトレーニングを行い、無理なく見守りながら行う。布パンツで一日過ごす。						
遊び	言葉を通して、友達や保育者と関わりながら、コーナー遊びや簡単なルール遊びに繋げていく。						
実践・効果	<p>【食事】担当制（1対2、1対3）で食事の際の基本的な習慣を身につけ、友だちと一緒に楽しい雰囲気の中で食事をし、苦手なものも少しずつ食べられるように声掛けをした。スプーンの正しい持ち方を覚え、反対の手で食器を持って食事ができ、食事の前の手洗いや消毒をし、子どもが食事の配膳や後片付けしやすいように配慮した。自分たちで栽培した野菜（きゅうり、ピーマン）を収穫体験し、楽しみながら旬の食材を体験することができ、その食材を給食先生に調理してもらい感謝の気持ちを持つことができた。</p> <p>【排泄】個別に応じて排泄のタイミングを把握し、見守りながら排泄ができるように配慮した。ちり紙の使い方や排泄後の後始末の仕方、スリッパを揃え、排泄後の手洗いなど声掛けを行い身につくように配慮した。</p>						

	<p>【遊び】自然に触れ、伸び伸びと遊べるように散歩や戸外での活動を多く取り入れた。コーナー遊びでは、子どもが興味を持ってもらえるようにコーナーの見直しをした。コーナー遊びを通して一人遊びから同じ空間にいる友だちとコミュニケーションを取って遊ぶようになった。簡単なルールを理解し、保育者や友だちと集団遊びや玩具を用いて遊ぶ、ごっこ遊びを通してなりきりイメージを持ったりして遊ぶような姿が見られた。</p>
--	--

【3歳児】 年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身に着け、身の回りの事を自分で行おうとする</li> <li>・遊びや生活を通して様々なことを経験する中で、友達との関わりを楽しむ</li> <li>・自分の想いや欲求を自分なりに言葉や身振りなどで伝えようとする</li> </ul>	
計 画	食事	苦手な食材も少しずつ自分で食し、集団での食事を通して完食する喜びを味わう。
	遊び	コーナー保育を通して、自分で出したものの片付け、協力して作りあげることの達成感を味わう。
	生活	一通り自分でやってみようとし、できないことは保育者と一緒に行えるようになる。
実践・効果	<p>【食事】集団で食事を行うことで苦手な食材にも挑戦する姿が見られ、個々の食事の量を調整する事により、完食する喜びを感じ、楽しい雰囲気の中、完食を目指す子が増えた。少人数ではあるが、スプーンから箸に移行し、正しい箸の持ち方を意識して食事ができている。</p> <p>【遊び】子ども達同士で玩具の貸し借りが出来るようになり、「後で貸してね」等の声掛けを自ら行い、別の玩具で遊んだり一緒に遊んだりすることができている。遊びの中で自分の思いを伝えたり表現したりしながら友達と遊ぶ楽しさを感じている。コーナー遊びをよく理解し、友達と協力して一つのものを作る達成感を味わう姿が見られた。保育者や友達とルールのある遊びに参加し、ルールを概ね理解できている。</p> <p>【生活】着替えを自分で畳み、出来た事を喜べるようになった。一日の流れが概ね分かるようになり、今何をすべきか、次はなにがあるのか考え、自ら進んで行動することができている。後片付けや保育者の手伝いを進んで行うことが出来ており、当番活動を楽しみにしている。</p>	

【4歳児】 年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達との関わりを広げ、一人ひとりの欲求を満たし、情緒の安定を図る。</li> <li>・基本的な生活習慣を身に付け、自ら気づき考えながら行動する。</li> <li>・のびのびと体を動かして遊びを楽しみ、発展させていく。</li> </ul>	
計 画	食事	苦手な食べ物にも興味・関心が持てるよう野菜の栽培を行う。 食事のマナーを伝え、楽しい雰囲気です食事を味わえるようにする。
	遊び	個別の遊びを十分満足し、集団遊びへと繋がるよう配慮し、ルールのあるゲーム(遊び)ができるようにする。
	生活	自分のことは自分ですするという意識が持てるよう声をかける。 自分の気持ちと相手の気持ちは異なることがあると気づき、折り合いがつけられるよう、時には保育者が仲立ちする。

実践・効果

【食事】当初は食べ物の好き嫌いや、食事に集中できない子、少食の子が多く、全員が食べ終わるまでに時間差があった。野菜の栽培や収穫を通し、食材への興味・関心を持たせ、食事の量を調節するなど個別に対応を行なった。また、箸の持ち方や食べこぼしをしないなどマナーが身につくように声をかけながらも、楽しい雰囲気の中で食事ができるよう工夫をしていった。徐々に食べられるようになったメニュー、食材が増え、苦手なものも食べてみようとする姿、食への興味が向上し、量やおかわりをするが増えてきた。また、食事に集中できるようになり、時間内に食べ終わる子どもが増えてきた。

【遊び】友達と関わりを持って遊ぶ楽しさにも気が付けるように鬼ごっこや、ままごと遊びを通して、自分の意見を主張しつつも友達の話のも少しずつ聞けるように援助を行った。トラブルになった時には保育者が仲立ちしてお互いの気持ちに気付くことができるよう配慮した。勝ち負けのある遊びにこだわりを持つ子が多く、負けた時の悔しい気持ちに寄り添いながらも、気持ちを切り替えて次の活動へ取り組めるように期待を持たせていった。コーナー遊びでは発達や興味の変化に応じて、一人一人がじっくり遊べるように定期的に配置や内容を見直し、ルールを守って遊び、片付けが出来るように環境整備に留意した。個々の遊びから、友だちと同じ遊び、誘い合わせて遊ぶ、友だちと協力しての遊びへ発展させるなど、友だちとの関わりを喜び、楽しむ姿が多く見られるようになった。

【生活】自己主張、承認欲求の強い子どもが多く、その言動や行動から、クラスが落ち着かない場面が見られるため、落ち着けるような言葉かけ、支援を行った。物の場所を決め、生活の動線に配慮し、スムーズに行動できるようにした。友達同士の会話や遊びの中で自己主張が強く、お互いの話を相手が聞き続けるまで話そうとするので一人一人の音量が大きくなりクラスが落ち着かない状況があった。保育者が間に入って、時や場合等の相手の都合を伝えていき、話を聞く大切さを教えていった。友達への思いやり、認めることの大切さなど、その場面、場面で伝えていき、その行動、言動があった時は、褒めて、満足感を味わえるようにした。一日の生活の中で見通しを持たせるため、時計の数字を目印に次の活動を伝え、切り替えて活動がスムーズに流れるように配慮した。個別の指導や援助を必要とする子が多いので、担任保育者、補助保育者と連携を取り、一人一人に適した援助を行いながら、クラス全体の動きが止まらないよう留意した。様々な活動を通して、同じ目標に向かって協力する楽しさを知り、達成感を持たせ、自信につながるようにした。活動内容、方法を伝え、日々繰り返し、積み重ねながら、身に付くように寄り添い、支援を行なった。

【5歳児】 年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や保育者と一緒に、一つの目標に向かって力を合わせて取り組み、達成感を味わう。</li> <li>・様々な体験活動の中で社会生活に必要な基本的な生活習慣や自主性、協調性を身に付け、思いやりや、感謝の心を持って充実感を味わう。</li> <li>・見通しをもって自ら考え、主体的に活動する。</li> </ul>	
計 画	食事	食事のマナーや時間を意識しながら食事をし、自分たちで育てたものを食すことで、食べることの大切さや喜びを感じる。
	遊び	友達との関わりを通して、約束やルールを守ることの大切さを知り、達成感や満足感を味わう。
	生活	就学に向けて基本的な生活習慣を身に付け、見通しを持ってすごせるようになる。
	言葉	友達や保育者との関わりの中で、自分の思いや考えを言葉で伝える。また、相手の思いや考えに耳を傾ける。
実践・効果	<p>【食事】食事のマナーや時間を意識して食べることの大切さを伝えていき、箸の持ち方や食器の置き方、姿勢や時間の見通しをもって食事が出来るようになった。自分たちで栽培した野菜を使った給食やクッキングを通して、食の大切さや喜びを感じる事が出来た。</p> <p>【遊び】室内遊びでは、子ども一人一人が興味・関心を持ち、自分で考え、創造して楽しめるような物を配置し、表現する喜びや達成感を感じる事が出来ている。ごっこ遊びやゲーム遊びを通して、身体を思いきり動かしたり、約束やルールを守ることの大切さを伝え、意識しながら友達と一緒に遊ぶ充実感を味わう事が出来ている。</p> <p>【生活】年長児としての身の回りのことが自分ででき、基本的な生活習慣が身につけてきた。「今何をやる時なのか」「次は何をしないといけないのか」を自分で考えられるように声掛け・配慮し、少しずつ見通しをもてるようになってきた。健康な生活の仕方が身に付き、自ら汗の始末をしたり、衣服の調整が出来るようになってきた。</p> <p>【言葉】友達や保育者との関わりの中で、話を聞く時の姿勢や自分の思いを言葉で伝えることの大切さを伝えていき、意識しながら自分の思いを言葉や様々な方法で表現することができている。経験したことや考えたことを伝える場を設け、自分なりの言葉で表現し相手に伝えること、相手の話をしっかり聞くことが出来るようになってきた。</p> <p>【その他】様々な活動・行事を通して、一緒に喜んだり、相手を思いやる気持ちや最後まで諦めない気持ちを育むことが出来た。クラス全体で一つの目標に向かって取り組み、達成感や充実感を味わうことが出来た。就学に向け言語聴覚による教室で、正しい鉛筆の持ち方を意識しワークに取り組んだ。興味や関心が持てるように声掛け・話しをした。保育園生活を思い出し、自分の成長を感じたり、感謝の気持ちを持てるように配慮した。</p>	

### 【1年の振り返り】

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止の為、対策を行いながらの保育となる。その為、園外保育については地域交流(小学校との交流、デイサービス訪問等)の実施できなかった。人が密接する親子遠

足、公共交通機関を利用しての園外保育も控えることとなった。

その他、日常の中で取り入れられる、神社や公園への散歩、近くの空き地への遠足は実施できた。大きな行事では、夏祭りは以上児の子どもと職員のみ(初年度は保護者参加型)で行えた。

運動会では競技の短縮、保護者の観覧人数制限・座席指定を行い、実施できた。生活発表会は以上児のみ夢サイトで行い、入場人数制限の為、観覧は年長児の保護者のみで行った。対策や制限などで保護者の協力をお願いしたが、快く承諾してくれ開催することができた。

規模の縮小はあるものの行事を遂行し、行事を通して保育目標である「自分らしく、意欲的で思いやりのある子ども」「他者の喜びを感じられる子」「丈夫な身体と豊かな想像力を持てる子ども」に近づけたと思われる。

## (6)給食

- ・食器洗浄機の設置。
- ・未満児用及びアレルギー食用の食器の購入。未満児用スプーンの購入。
- ・離乳食は、個々の成長にあわせ、保育士等と相談しながら進めた。
- ・安心安全な給食の提供を心掛け、旬の食材や地産地消を取り入れた献立の作成。
- ・取引先の変更  
鮮魚店、移転により変更  
牛乳販売店、廃業により変更  
精肉店、品質改善のため変更  
新規取引先として地元養鶏場からの卵の仕入れ
- ・玄関に毎日の献立と昼食写真の掲示。
- ・体調の悪い子どもには病児食で対応した。
- ・パソコンを利用し、給食日誌や献立作成、栄養管理ができた。
- ・1歳から5歳児が菜園活動をし、成長を観察、収穫をした。収穫物は給食に使用した。  
5歳児はクッキングを行い、作る楽しさも教える事ができた。
- ・アレルギー除去の子ども1名(3歳男児 小麦・乳除去)に対応した。令和3年7月、退園。

## (7)健康管理

### 1) 園児

園児定期健康診断 2回                      身体測定      12回                      園児定期歯科健診 2回

### 2) 職員

職員健康診断 1回                      職員インフルエンザ予防接種 1回

給食・職員全員腸内細菌検査 12回

ノロウイルス検査 1回

職員20人中19名新型コロナウイルスワクチン2回接種完了

## (8)非常災害危険防止訓練の実践状況

火災訓練 12回

水害避難訓練 1回

地震対応訓練 6回

不審者対応訓練 2回

(9) ヒヤリハット・事故報告

- ・かみつき：18件
- ・気づかずに閉じ込め：1件
- ・ひっかき：4件
- ・握りしめ：1件
- ・はさまれ：2件
- ・投げつけられる：1件
- ・脱臼：1件
- ・切り傷：2件
- ・打撲：1件

計 31 件

噛みつきの件数が一番多いため、職員の配置を配慮すると共に、見守りの強化を行う。

子供たちの状態により、間隔を空けるなど配慮する。

(10) 新型コロナウイルス感染症報告

- ・感染者数 園児 15名 職員 9名 計 24名

・休園について

職員から新型コロナウイルス発生後保護者に一斉メール・電話にて感染者の発生を伝え、2月3・4日の休園のお知らせをする。

・保護者への対応

職員から新型コロナウイルス感染者が発生したことを一斉メール・電話で伝える。

休園のお知らせをする。

休園中の園児の体調確認の電話をすることを伝える。

登園開始時、2歳児はマスクできる園児。3歳～5歳児はマスク着用を続行するように呼び掛ける。

密にならないように注意し、手洗い・うがい・消毒を続行し、園児登園前後の消毒・環境整備をしっかりとっていることを伝える。

(11) 研修・職員育成

○中尾繁樹先生 園内研修・カンファレンス

4月6日、10月1日、12月17日、12月25日、3月8日

○中尾繁樹先生 夜間セミナー

みんなの特別支援教育 6月16日～（5回）、10月27日～（5回）、1月25日～（5回）

○運営研修 接遇について 小笠原先生 4月22日

○新型コロナウイルス感染症について 谷口先生 7月20日

○小児感染症研修 後藤先生 8月21日

○園内研修 安全対策研修 10月18日

○第6回福岡食物アレルギー攻略講座 10月31日

○保育士等キャリアアップ研修

（保護者・子育て支援、乳児保育、幼児保育、障がい児保育、保健・安全、アレルギー）

○福岡県保育協会主任研修 11月6日

○保育所（園）職員総合研修大会 1月3日



○保育士研修会 2月16日

○ハラスメント研修 國武先生 1月27日

○宮城県企業主導型保育事認定 NPO 法人フローレンスおうち保育園かしわざい・仙台市青葉おうち保育園かしわざい 意見交換 10月28日

外部研修を充実させることを目的とし様々な研修に全員が（zoom）参加出来るようにした。

園内研修は、中尾繁樹先生による研修、職員・保護者参加する。

#### (12)年間行事

開催月	行事（予定）	実施状況
4月	入園式	保護者1名に限定し実施
5月	春の遠足	実施
7月	夏祭り	園児、スタッフのみで開催
10月	運動会	保護者2名に限定し指定席にて観覧
	リンゴ狩り	実施 今年度初めての取り組み
	ハロウィン	実施
11月	七五三	実施
12月	生活発表会	年長児保護者のみに限定し指定席にて観覧
	マジックショー	実施 マジック&コメディアー テバッタ
12月	餅つき	地域の方と共同で開催
	クリスマス会	実施 らいく嘉麻店よりサンタクロース1名応援
2月	節分	コロナ感染者が出た為中止
2, 3月	作品展	予定期日変更で実施
3月	お別れ遠足	実施
	卒園式	保護者2名に限定し園児はマスク着用にて実施（11名卒園）

#### (13)新たな取り組み

##### ① ホワイトボードでお知らせ

園で流行している病名と人数を記載。

家庭でも感染予防を行い体調管理に十分に配慮をお願いしている。

保護者は、園で流行している病気の把握ができ、医師に伝え受診する。

##### ② 感染症欠席リスト

発病の日や何日休んだか、登園を始めた日などを記載し、わかりやすく表示することで誰が見ても、どんな感染症がいつ流行しているかがすぐにわかるようになった。

#### (14) その他

##### ① 実習生の受入れ

保育士専門校 2校2名 保育短期大学 1校 3名

③ 学校職場体験の受入れ

高校1校 18名

上記の受け入れを行った。保育士の仕事は増えるが、将来の人材育成と人材確保も視野に入れ丁寧に関わることで、自らの保育に対する振り返りにもなるので、今後とも積極的に受け入れていきたい。